



# 銀座分会 NEWS LETTER①

労働組合  
三越伊勢丹支部  
銀座分会

2026.3.10

SPECIAL

## 塩谷 英資さん(三越銀座店第1営業部商品担当長)

銀座店ではたらく皆さまへ ステージAの皆さまと話す機会の創出や、ご自身のキャリアを考える上でのきっかけを提案したいと考え、組合広報チームでステージAの皆さまにインタビューさせていただきました！

### 【仕事・キャリア】入社時思い描いていたキャリアを、今、歩まれていますか？

2002年伊勢丹入社当時は、自主編集のバイヤーになりたいと思っていて8年目までは伊勢丹新宿店の婦人服を主に担当していました。

2011年(マネージャー昇格3年目)に、JR西日本伊勢丹が母体である大阪の三越伊勢丹に婦人服のバイヤーとして異動に。転勤のイメージがなかったこともあり、その頃から自分が思い描いていたキャリアとは変わってきたと思いますが、結果的にはバイヤーとして開業準備や店・ブランドの立ち上げ、その後も新宿店婦人雑貨のリモデル等々に携わらせていただく中で、(入社時のイメージより)さらに刺激と学びのあるキャリアにつながっていったと感じます。

特に2011年度からの大阪転勤は、三越伊勢丹としての関西方面への初出店。競合がひしめく地域4番店で、予算比が半分も届かないなど苦戦が続き、出店から3年でクローズに。それぞれ会社(出向元)が違うメンバーと一緒にいた中で、メンバーの雇用や賞与等の現実を目の当たりにし、経営判断の重さを身をもって感じました。

当時、1バイヤーとしてできることとして、閉店作業をおこないながら自ら手をあげて、“ルクアイーレ”の立ち上げに携わりました。計6年の転勤(出向)となりましたが、お買い場も含め一緒にいたメンバーのことを思うと何としても成功させたいという思いでした。

また、バイヤー業務自体は楽しかったけれども、厳しい環境下での営業を経験する中で、バイヤーが思いっきり買付や企画業務ができる業績を含めた環境づくりの重要性を感じたことは、その後、経営を目指すきっかけになりました。

### 【仕事・プライベート】今、興味がある事は？それぞれ教えてください。

今年度より銀座店第一営業部となり新領域を担当していますが、長女・次女が遊びでメイクに関心があることから一緒に新大久保に韓国コスメを見に行ったりしています。

また長男は野球をしているので、どうしたら技術の向上につながるかを考えてサポートしたりしています。基本的に楽しく仕事をしたいと思っているので意図的にプライベートに結びつけているところもあります。

最近、一番下の子がモルモットを飼い始め、餌をあげることにもはまっています。



写真(本人提供)



### 【仕事】大きな失敗や経験はありますか？

入社1年目の時にお客さまへの入荷のご連絡などを当時手作業でメール配信していましたが、お客さまのメールアドレスをBCCではなく、CCに入れて送信してしまったことがあります。当時はまだ個人情報の法律も施行されていなかったのですが、お詫びのメールを送信して大きなクレームもなく終了しましたが、その時はクビになるかと思いました。先輩や上司がその後の対策についてどうしたら良いかなど、優しく対応してくれたことを覚えています。

### 【仕事】ストレスを感じた時の対処法・発散法は？

そもそも物事は思い通りにならないというスタンスで取り掛かっているのが、ストレスという言葉は考えないようにしています。コントロールできないことは俯瞰して捉えています。

ただし、業務過多や難易度の高い交渉をおこなっている時は疲労感を感じる時もあります。そんな時は子どもたちと一緒に料理をつくったり家族と過ごすことでリフレッシュしています。ちなみに大学の時にイタリアンレストランなどでアルバイトをしていたこともあり、料理をつくることは好きです。子どもたちとピザを生地からつくったりします。

### 【仕事】銀座店の魅力は？

三越伊勢丹として、世界の80億人をターゲットに！と掲げた中で、そのテーマを一番具現化し、進化させることができる可能性を秘めたお店だと思っています！

～塩谷さん、ありがとうございました!!～

【問合せ先】渡邊 敦紀(分会長)・藤野宏美・池谷直美・黒川三千代・長井成美・菅野広太



三越伊勢丹支部  
Viva engage



IMGU  
LINE



銀座分会  
組合役員紹介広報

発行人：  
労働組合銀座担当 阿部美紀

